

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年12月3日（火）

2 確認箇所

1 / 2号機共用排気筒（1 / 2号機開閉所前等から確認）

3 確認項目

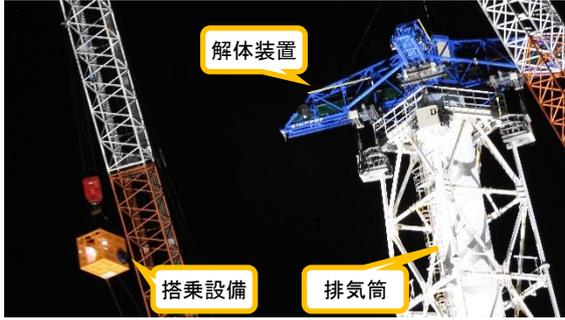
1 / 2号機共用排気筒解体工事の状況

4 確認結果の概要

1 / 2号機共用排気筒解体作業は本年8月1日から作業を実施しており、排気筒上部の約60mを23ブロックに分けて解体する計画のうち、1～3ブロック目までの解体を10月22日までに完了している。

4ブロック目の解体作業については、11月27日に実施していた筒身切断中に解体装置のチップソーの刃の噛み込みが発生し、不具合が解消できない状態となった。そのため、搭乗設備を用いて作業員が排気筒上部まで上がり、人力での排気筒切断作業を実施することになったことから、状況を確認した。

- ・現地確認時（5時頃）、搭乗設備を用いた有人の線量調査が行われていた。（写真1）
- ・6時23分に本作業を行う作業員が乗った搭乗設備が吊り上げられ、7時15分に作業員が搭乗設備から解体装置への乗り移りを開始した。その後、解体装置への給油作業が開始された。（写真2）
- ・9時3分頃、作業員が解体装置からグレーチング（歩廊）へ降下し、筒身切断作業準備としてグレーチングの調査が開始された。（写真3）
- ・その後、グレーチングの取り外しを実施され、搭乗設備は一旦地上に吊り降ろされた後、15時頃筒身切断のため、同設備が再度吊り上げられた。
- ・16時頃、解体装置及びグレーチング（歩廊）において、作業員3名が切断に向けた準備作業を実施していた。（写真4）
- ・16時11分頃に刃の噛み込み防止用のくさびを打ち込む作業が実施され、その後、グラインダーによる筒身切断作業が開始された。（写真5）



(写真1)



(写真2-1)

吊り上げられている搭乗装置



(写真2-2)

解体装置に接続された搭乗装置



(写真3)



(写真4)



(写真5-1)



(写真5-2)

筒身切断時には火花が発生していた

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。